

# 令和2年度 大阪府立門真西高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

《日時》 令和2年2月22日(月) 11時～12時 (感染拡大防止のため時間短縮)

《場所》 校長室

《出席者》 委員 真野 正道 (寝屋川市教育委員 関西外国語大学)  
鈴木 貴雄 (門真市教育委員会教育部 総括参事)  
背戸 利子 (門真市立第七中学校 校長)  
中内 恵 (本校同窓会代表) (メールでの参加)  
石丸 哲生 (令和2年度本校PTA 会長) (メールでの参加)

事務局 (学校関係者)

校長 教頭 事務長 首席2名 生徒指導主事

- 1 開会 校長挨拶  
委員紹介  
事務局紹介  
会長挨拶

## 2、令和2年度学校経営計画達成状況と評価 (案) について 報告

教頭より 第2回 授業アンケート結果分析の報告

- ・全体として、評価は下がっているが、高いレベルで2年生の評価は上昇。

学校教育自己診断 (生徒・保護者・教員) 分析についての報告

- ・コロナ禍により学校行事については、すべての自己診断で下落。
- ・進路指導や進路情報提供については、高い数値で推移している。(生徒と保護者)

校長より 取組内容に対する自己評価について報告 (◎○△で評価)

## 3 令和3年度学校経営計画 (案) について

- ・めざす学校像及び中期的目標は、今年度と大きな変化はない。2023年度までの目標を挙げている。
- ・安全安心な学校生活に、新型コロナウイルス感染症対策の下での教育活動の継続を取り入れた。

## 4 協議

(委員) 中期的目標については、学校運営協議会の承認が得られた。

(委員) 自己診断 (教員) 学校経営計画についての評価が高い (86.1%) が、周知について何か工夫しているか？

(事務局) 職員会議での評価育成などのたびに、校内イントラの共有フォルダでの閲覧を勧めている。

(委員) 学校教育自己診断 (教員) は、どの項目もかなり高い値であるが、回収率は？

(事務局) 7割程度で、低いと考えており、せめて9割程度の回収率となるよう工夫したい。これは、保護者のアンケートについても同じことが言える。

(委員) 学校教育自己診断において、教育相談については、教員では97.2%かなり高いが、生徒の「気楽に相談」の質問では、59.1% (否定 40.9%) とかなり差がある。相談体制が整っている一方で、生徒が相談しやすいと感じる工夫が必要ではないか。

(事務局) 今年度からSC (スクールカウンセラー) の他に、SSW (スクールソーシャルワーカー) も加えた。担任や保健室で聞いた話から、SC・SSWさんに繋ぐ工夫も必要な。

(委員) 逆に行事については、経年も含めて教員と生徒の肯定率がほぼ一致していることから、同じ思いを共有できていると推察される。次年度に向けて生徒としっかり意見交換をしながら行事を実施できるよう期待している。

(委員) 教員の学校教育自己診断の中で、人権教育と個人情報保護については、どちらも80%を超える高い肯定率となっているが、逆に20%程度は否定的な回答ということになる。また校内研修についての肯定率が70%程度でとどまっているので、人権教育と個人情報保護に関する取り組みを校内研修化するなどして、教員の意識を高める工夫が必要ではないか。

(事務局) わかりました。自己診断の否定的な数字にも注意して、運営していきます。

5 閉式 山領校長より謝辞 ・本日の締めくくりの挨拶。次年度への事務連絡